

広島市植物公園

見どころ案内

すいきんくつ
水琴窟と苔庭

先月オープンした水琴窟と苔庭。
苔15種をパッチワーク花壇でお披露目しました。

ルリタマアザミ (キク科)
西アジア原産の多年草。ヒゴタイの仲間で瑠璃色の頭状花を咲かせています。園芸店でも切花として販売されています。

ナリウツギと夏の植物展
花の少ないこの季節に咲くアジサイの仲間を展示。ほかに見ごろの夏咲きの植物を展示します。屋外展示場にて開催。

ゾウコンニヤク (サトイモ科)
東南アジア～オーストラリア原産。花は終わっていますが、高さ・幅とも2.5mほどの巨大な葉を繁らせています。

大温室改修のため休館中
リニューアルオープン
は平成29年秋ごろです。(予定)

ハンキングバスケット
カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、トレニア、カラジウム、ストラビランテス、コリウスなどを使い、夏バージョンに仕上げました。
[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

ヒゴタイ (キク科)
球状の蕾が銀白色から紫色になりつつ、咲き始めとなりました。絶滅危惧種。

アネモネ・フペシス (キンポウゲ科)
中国原産。薄桃色の花が咲いています。そっくりな秋明菊は、この変種になります。

スズランノキ (ツツジ科)
北アメリカ産の落葉高木。白いスズランに似た花が、まだ咲いています。秋の紅葉も美しく、三大紅葉樹の一つです。

ハス (ハス科)
インド原産多年生水生植物。桃色などの花が咲き始めました。環境の変化により個体数が減少しています。

ノアサガオのカーテン (ヒルガオ科)
品種はオーシャンブルー。紫色の花が咲いています。今週、ツルは屋上まで到達して、大きなカーテンを作っています。

